

令和3年度 事業計画



「Be a Global Japanese! 一流の日本人になれ!」をコンセプトに、1歳児～5歳児の乳幼児を対象とした教育保育を行っています。

併設：御影小規模保育ルーム(神戸市小規模保育事業)



御影インターナショナルこども園は、開園から8年目を迎えました。日本人としてのアイデンティティを身に付け、世界中の人たちと友だちになれる人材を育てるという教育保育方針のもと、特

色ある「MIK教育プログラム」「英語イマージョンプログラム」「生活プログラム」の3つの柱によって、それぞれの個性を伸ばしながら発達段階に応じて生きる力を育てています。

保育所保育指針等において「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明示され、小学校との円滑な接続の重要性が増しています。本園においても、小学校との連携強化を図り、小学校での学びにつながる教育保育内容の更なる充実を図って参ります。

御影小規模保育ルームにおいても、保護者のニーズに合った教育保育に取り組みます。

今年度、特に以下の項目において重点的かつ具体的に取り組んでいきます。

- ①幼小接続
- ②環境整備と保護者満足度の向上
- ③地域コミュニティとの連携
- ④広報の強化と財務改善

御影インターナショナルこども園
園長 三木 圭子

御影インターナショナル こども園

設置場所：神戸市東灘区御影2丁目15-27

定員：120名

■教育活動計画

1. 1歳児クラス

情緒の安定を第一に考え、保護者との連携を密にし、家庭生活とのバランスを取りながら保育を行います。また、石井式漢字教育を取り入れ、国語教育の礎を養います。

2. 2歳児クラス

前述の保育内容に加え、プレイマージョンとして歌、体操、絵本読み聞かせなどにおいて積極的に英語を使った保育を行います。また、外部講師による体育あそび教室も継続して行うなど、心身の健全な発達を促します。

3. 3～5歳児クラス

英語イマージョンプログラムを行います。専任のイマージョンディレクターが作成したプログラムに沿って、日々、外国人教員と日本人保育士が連携してクラス運営を行います。

4～5歳児についてはCambridge Exam, Starters (ケンブリッジ国際児童英検スターターズテスト)を受験し習得度を確認します。

また、様々な分野の外部講師を招聘し、絵画造形、体育あそび、リトミック、鍵盤ハーモニカ、論語な

どの教室を定期的を開いて、園児たちの興味と関心を広げ、大きく育てています。

■幼小接続

小学校教育との円滑な接続を図る観点から、保育所保育指針、幼稚園教育要領等に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明確に示されたことにより、本園においても、卒園後の学びにつなげるために一層の幼小接続に取り組みます。

小学校との連携を行うにあたっては、本園が県内有数の文教地区に立地していることから、私立小学校だけでなく、近隣の公立小学校とも情報交換を図っていきます。

御影小規模保育ルーム

定 員：19名（0歳児～2歳児）

■保育方針と保育目標

保育指針に基づき、支給認定を受けた保護者の児童に対し、特定地域型保育を提供します。

■保育活動計画

1. 0～1歳児クラス

健やかな生活を確立できるよう環境を整えるとともに、健康や安全など日常生活に必要な基本的な習慣や態度が身につけられるよう働きかけていきます。1歳児からは、石井式漢字教育を取り入れ、国語教育の礎を養います。

2. 2歳児クラス

前述の保育内容に加え、様々な体験ができる環境を整え、子どもの思いに共感しながら、豊かな感性を育むよう働きかけていきます。

社会連携・社会貢献

■地域への貢献

地域の自治会と連携し、老人会と交流を図る機会

を作ります。神社や地域開催の行事にも積極的に参加し、地域との交流を深めていきます。

■ボランティア活動、就業体験受入

昨年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため行事が制限されましたが、地域ボランティアの方々にご協力いただき、しめ縄づくりやクリスマス会などの園行事を開催することができました。今年度は、園児たちに様々な体験ができる機会を増やしていきます。

近郊の大学からは、保育士を目指す就業体験学生の受け入れを行っており、今年度も継続します。

中学生が職場体験、福祉体験、勤労生産活動を行う兵庫県の事業「トライやる・ウィーク」についても、就業体験生徒の受け入れを継続して行います。

環境整備

■保育室の拡張

今年度は、教育保育施設整備の一環として、手狭だった御影インターナショナルこども園の4歳児保育室を拡張します。同保育室のスペースは2倍になります。

■ICT化の推進

保護者との連絡・情報共有、スタッフ業務の効率化のため、保育園管理システムを導入しています。お知らせ一斉配信、アンケート、ICカードによる登降園管理などの機能を活用し、保護者とのコミュニケーションの向上を図ります。また、園児情報ほか様々な情報の共有や、保育料請求などの業務効率化に役立てます。

■図書の実

保育士の読み聞かせや子どもたちが読書に親しむための絵本など、児童・幼児用図書の充実を図ります。また、ご家庭でも絵本に親しんでいただくため、「ふくろう文庫」による図書の貸し出しを継続します。

■安全管理、健康管理

乳幼児や小学生の安心安全を担保するため、職員全員が、施設・遊具等の安全管理、感染症の予防などの健康管理を徹底します。担任は子どもの健康管理について、保護者と情報の共有に努めます。

乳幼児突然死症候群(SIDS)や非常災害などの発生時に備え、定期的に緊急時対応訓練を実施します。

新型コロナウイルス感染症に関しては、感染予防の一環として全館で光触媒抗菌コーティング(酸化チタン)施工を行います。また、神戸市こども家庭局の指示に従って感染防止対策に万全を尽くします。

■職員研修

園内研修については、必要に応じて外部講師を招聘し、計画的に実施します。園外研修についても、職員の派遣を積極的に行い、保育士の能力向上に努めます。

園児の受入

■園児・児童の受入方針

御影インターナショナルこども園では、保護者が教育保育方針・目標などを十分に理解したうえで入園していただくよう、入園説明会や親子面接の機会を利用し、本園の方針を懇切に説明しています。

御影小規模保育ルームについては、認可施設のため、神戸市からの割り当てにより入園者を受け入れます。

■入園説明会・施設見学

御影インターナショナルこども園では、体験型の入園説明会や施設見学会などを開催しています。本園の方針を説明し、保護者のお子さまの教育保育に対する思いとミスマッチが生じないように努めます。

御影小規模保育ルームについては、神戸市へ支給認定手続きや利用申込みを行う際、多くの入園希望者に選択していただけるよう、施設見学会を実施しています。

こども園、小規模保育ルームとも、保護者等の個別見学を常時受け付けています。

■保護者満足度の向上

保護者満足度の向上を図り、保護者からの評価が高まるのが園児募集の大きなポイントになることを職員一人ひとりがしっかりと自覚します。満足度調査を定期的実施し、更なる改善に努めます。

■SNSを活用した広報

本園では、日々ホームページの情報更新を心がけていますが、今年度からSNSを活用した広報活動をスタートさせます。保護者にとって最も身近な情報媒体であるInstagram、Facebookを活用して、園発信の情報量の増加を図ります。前述の保護者満足度の向上と定員充足に向けた募集広報を展開します。

主な行事予定

4月	入園式 進級式 クラス懇談会
5月	春の遠足(こども園)
6月	保育参観・個別懇談
7月～	入園説明会(2回程度)
8月	お泊り保育
9月	祖父母参観日
10月	運動会 ハロウィンパーティー
11月	秋の遠足(小規模) 七五三 保育参観・クラス懇談会
12月	みんなの発表会(こども園1～2歳) クリスマス会
1月	初詣 みんなの発表会(小規模)
2月	みんなの発表会(こども園3～5歳)
3月	卒園式

その他行事

誕生日会、子育て講座 など

児童・教職員数

(令和3年5月1日現在)

■在籍児童数

◎御影インターナショナルこども園

クラス名	収容定員	在籍児童数
1歳児	12	7
2歳児	18	11
3歳児	30	28
4歳児	30	23
5歳児	30	21
合計	120	90

◎御影小規模保育ルーム

クラス名	収容定員	在籍児童数
0歳児	19	2
1歳児		8
2歳児		5
合計	19	15

■職員数

園長	副園長	英語 教員	保育士	事務 職員	計
1	0	3	11	3	18